

看護師になるために

相模女子大学小学部 六年 大久保 知花

「将来の夢がないなら、お兄ちゃんのお世話になった病院で働いて」。お風呂上がりに、母に言われた言葉だ。その時は、将来の夢が決まっていなかった。一つの目標ができて、嬉しかった。

このときから、私の将来の夢は看護師になった。調べてみると、看護師とは、医師の診察に基づき、治療の補助を行い、怪我や病気などで不自由な生活を送る患者に対して、看護を提供する仕事だということが分かった。私は、自分の力を使って、誰かの助けになりたいと思っていたので、自分に合っているなと感じた。そして、次に、この夢を叶えるための道のりを調べた。

看護師になるためには、まず、法律で決められている必要な教育を受ける必要がある。そして、その知識を使って国家試験を受け、それに合格して看護師免許を取得しなければならない。

私が、看護師になるために立てたライフプランは、次の通りだ。まず、高校生で特待生になることを目標にして、一生懸命に勉強を続けていく。そして、看護系の学部がある大学を受験する。大学で、看護師の仕事についてしっかりと勉強し、国家資格を取る。国家資格を取ることができれば、ようやく看護師として働くことができる。病気に苦しんでいる人や困っている人たちの手助けになるために、頑張りたい。

看護師に必要な力は、四つある。一つ目は、コミュニケーション力だ。医師と相談しながら、患者の傷や病気の治り具合を正しく把握し、患者に今後の治療の方法について分かりやすく伝えられたら、安心させることができるからだ。二つ目は、看護師として患者の治療を第一に考えようとする信念を持ち続ける力だ。計画的に治療に当たりながら、多

くの患者を救いたいという強い気持ちがあれば温かい看護をすることはできない。

三つ目は、記憶力だ。看護師は、難しい名前の薬の効能を理解し、用法や用量についても、医師からの指示を正しく記憶し、その通りに取り扱うことができることは、特に覚えておかなければいけない。四つ目は、薬や道具を扱う技術力だ。

看護師は、患者の治療のために薬品や危険物を取り扱う。少しの間違えが命に関わることもあるので、とても大事な力だ。私は、いつか看護師になって、病気で苦しんでいる人たちを救いたい。そして、少しでも多くの患者さんが、幸せになれるように努力する。命の危機がある人の治療の手助けを担当することになったら、決して諦めず、患者を励ましながら進んでいきたい。お母さんやお父さんに立派な姿を見せて恩返しができるような看護師になりたい。これが私の夢だ。



大久保 知花 のライフプラン

将来なにになりたいか? 看護師

その理由: 私の兄が病気で入院していた病院におんがえしをしたいから。

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2022年	12才(小6)	探検で看護師の仕事について調べる。小学校卒業	学費 ならい等の月費
2023年	13才(中1)	中学校入学 高等学校で特待生になるために勉強をがんばる。	
2024年	14才(中2)	分からない単元は復習する。中間テストの点を上げる。	
2025年	15才(中3)	高校生で特待生になるために過去問をとく。中学校卒業	
2026年	16才(高1)	高等学校入学 特待生 大学受験に合格するために過去問をとく。	
2027年	17才(高2)	新しいことにならうとせんしてみる。興味をみつける。	
2028年	18才(高3)	大学受験 旧中勉強 高等学校卒業	過去問代
2029年	19才(大1)	看護学部に入る。看護士になるための勉強をがんばる。	学費
2030年	20才(大2)	国家資格をとるために勉強。少しあそぶ。	
2031年	21才(大3)	：	
2032年	22才(大4)	：	
2033年	23才(大5)	：	
2034年	24才(大6)	法律で決められている必要な教育を受ける。	
2035年	25才(社会)	国家試験を受ける。免許を取得する。私	生活費 が入代 電気代
2036年	26才	せりり大学で働く。たまにあそぶ。	
2037年	27才	↓	
2075年	65才↓	一人でのびのびくらす。退職	

※最後の行は、何歳の時にどうなっていたいか、自分で好きな年を入れてみましょう!